

No	項目	意見の内容	委員名	担当分科会	意見に対する対応	計画への反映箇所 (素案ページ番号、修正箇所)
1	全体	別紙の「主な取り組み」と「K P I」がアンマッチである。	広川委員	全体	各分科会で改めて確認・検討を行いました。	下記の施策の柱のKPIを見直しました。 P33「市民が地域で支え合う福祉のまちづくり」 P38「介護人材の確保に向けた支援と介護サービスの質の向上」 P41「ひきこもり対策の強化」 P44「健（検）診・保健指導・相談等による生活習慣病予防の推進」 P58「発達等配慮が必要な子どもと保護者への支援体制の充実」 P75「消雪施設の適正な維持管理と長寿命化」 P85「地域のつながりと暮らしを守る公共交通の確保」 P86「拠点の維持と持続可能なコンパクトシティの推進」 P86「都市の中心性を高める魅力あるまちづくり」 P129「スマート行政の推進と公民連携による市民サービスの向上」
2	全体	子育て対策は充実しているが、そこに至る結婚を促す様な出会いを増やすという項目がない。 出会いの場を増やすことが必要なのではないか。県の出会いサポートを活用する（入会金の補助など）のも手。 出会いのサポートは幸せへのひとつの手段。	渡辺委員	市民協働分科会	ご指摘のとおり出会いや結婚を希望する方への支援についての観点がないため、基本目標「誰にも優しく寄り添う共生社会のまち」の政策「多様性を認め合い、自分らしく暮らすことができるまちづくりの推進」に施策の柱として「出会いの創出と結婚への支援」を追加しました。	P30 政策：多様性を認め合い、自分らしく暮らすことができるまちづくりの推進 施策の柱：出会いの創出と結婚への支援
3	全体	長岡市が何の分野をもって日本一、世界一になるのかははっきりさせることで、人が集まってくるようになる。 また、人口減少が各分野の共通の課題であるにも関わらず、施策レベルになると触れられていない。	坂田委員 高野委員	政策企画課	次期計画では、日本一質の高い教育のまち、日本一子育てしやすいまちを目指すことを記載します。 これ以外の分野については、それぞれ特に力を入れていく政策に関する主要指標として、施策の柱ごとのKPIから抜き出し、整理していきたいと考えています。 人口減少については、委員ご指摘のとおり各分野共通の課題であるため、計画全体の目標である将来像に社会減に歯止めをかける想いを込めました。 それぞれの施策の取り組みを確実に推進することによる総合力によりその実現を目指していきます。	－
4	全体	KPIの数が多すぎて検証ができなくなる可能性がある。例えば、基本目標ごとに主要（代表）KPIを設定することも必要だと思う。	広川委員	政策企画課	ご提案のとおり基本目標ごとに主要指標（KPI）を設定します。 また、施策の柱ごとの指標では測れない重要な指標については、総合指標として設定します。	総合指標：P23 主要指標：P24、49、69、92、110、126
5	全体	市民アンケートについて、より多くの意見を集められると良いと思う。回収率が低すぎると思う。 町内会が変革する必要がある。市民アンケートも町内会をベースにアンケートを取ってはどうか。 トップダウンで動かないと市民の意識も変わらないと思う。	近藤委員	政策企画課	アンケートの回収率が高い他自治体等の実施方法を研究するほか、ホームページやSNSなどを通じて周知するとともに、わかりやすく回答しやすいアンケート用紙や回答フォームとなるよう工夫します。 あわせて、町内会を巻き込んだアンケート調査の実施も含めて、より効果的な方法を検討していきます。	－
6	全体	長岡市育ちの人視点になっている。 海外の人にも注目してもらって外国人材を入れていくのであれば、総合計画の英訳版を作ってもいいのでは。 あとは、自治体の力の入れているところをわかりやすくするために、該当するSDG sの目標を提示することも検討してはどうか。	外山委員	政策企画課	総合計画については、本編と概要版を作成する予定です。ご提案の英訳版の総合計画については、外国人材の受け入れなどによる外国人市民の増加を考慮し、概要版において作成したいと考えています。 SDG sの目標の記載については、特に重要な（力を入れている）政策に係るKPIを、施策の柱ごとのKPIから抜き出して「主要指標」として設定することにより代替したいと考えています。	－
7	変わるイノベーション宣言	「変わるイノベーション宣言」だと、「変わる」と「イノベーション」は意味が重なっている。 頭痛が痛いような。	大島委員 田中委員、渡辺委員	政策企画課	ご提案の「変わるれ！宣言」とします。	P17、18 変わるイノベーション宣言→ 変わるれ！宣言
8	変わるイノベーション宣言 政策	3つの変わるイノベーション宣言の想いはとても納得できる。一方で、「公共交通の維持」と「DXの活用」については、この宣言と、政策及び主な取り組みとの関係性が読み取りにくい。例えば、公共交通は、主な取り組みのコンパクトシティ推進の項目の中に少し記載されているが、埋もれているように感じる。せっかく変わるイノベーション宣言として前面に打ち出しているので、7つの政策にもはっきり記載した方がわかりやすくてよい。もしくは、コンパクトシティ推進のために、公共交通がそれを支えるという関係性なのであれば、逆に、変わる宣言には公共交通確保ではなくコンパクトシティ推進と記載するなど検討した方がよい。インフラにおけるDX活用も同様。重きを置くものを宣言に記載した方がわかりやすい。	樋口委員	まちづくり・インフラ分科会	〈公共交通について〉P85 ご指摘を踏まえ、政策名称「豊かな暮らしを守る持続可能なコンパクトシティの推進」を「豊かな暮らしを守る公共交通の確保とコンパクトシティの推進」に改め、施策の柱に「地域のつながりと暮らしを守る公共交通の確保」を追加しました。 〈インフラについて〉P88 インフラ整備の記述においては、効率的なインフラ整備の手段の一つとしてDX活用をあげているものです。 持続可能なインフラの整備・保全における“政策の目指す姿”に「効率的で」の記述を追記します。	P22.84 政策：豊かな暮らしを守る公共交通の確保とコンパクトシティの推進 P88 政策：持続可能なインフラの整備・保全 P85 政策：豊かな暮らしを守る持続可能なコンパクトシティの推進 施策の柱：地域のつながりと暮らしを守る公共交通の確保
9	基本目標：誰にも優しく寄り添う共生社会のまち 基本目標の説明文	大項目に「アオーレ長岡を拠点に」と書いてあるが、支所地域が含まれないため良く思わない人もいるのでは。 中心部とその他を分断するように思われる。	田中委員	市民協働分科会	指摘のとおり、市域全域で市民協働の取り組みを進めていく必要があることから、「アオーレ長岡を拠点に」という記載を削除しました。	P17 基本目標：誰にも優しく寄り添う共生社会のまち 基本目標説明文

No	項目	意見の内容	委員名	担当分科会	意見に対する対応	計画への反映箇所 (素案ページ番号、修正箇所)
10	変わるイノベーション宣言： 誰もが実感！人権 や多様性を認め合 い、自分らしく暮 らせるまち	人権いるのか。 憲法で人権があるからわざわざ言わなくてもいいのでは。	田中委員	市民協働分科会	「人権」については、市においても「長岡市人権教育・啓発推進計画」を定め、施策を一層総合的・効果的に推進するとしており、人権尊重意識の高揚を示す意味合いで記載しました。 一方、委員御指摘のとおり、カットしても「多様性を認め合い」に包含されるものと考えますので、「人権」の言葉は削除します。	P17.24 基本目標：誰にも優しく寄り添う共生社会のまち 変わるれ！宣言（１つ目）
11	変わるイノベーション宣言	対象は子どもたちかと。P50政策：「あらゆる年代における学び・体験・交流の充実による人材育成」が感じられない。 3つの宣言の繋がりが生涯学習になると思う。生涯学習の面での3つの宣言の串刺しになる理念があると良い 生涯学習に限定をするわけではなく、3つの部局の基本的な理念、目指す方向が明確に共有されていることで、同じベクトルで3つの部局が進むことでより効果が上がると考えます。	山田修委員 黒崎委員	市民協働分科会 子育て・教育分科会	・年代に限らず学びとチャレンジができることを表すよう、変わる宣言「学ぶ楽しさ、チャレンジする意欲があふれるまち」を「生涯にわたり、学ぶ楽しさ、チャレンジする意欲が持てるまち」に修正しました。 ・「誰もが学びに熱中できる」や「学ぶ楽しさ、チャレンジする意欲」には、「あらゆる年代」を含んでいます。 これがわかりやすく伝わるよう基本目標の説明文に「「米百俵プレイスミライ工長岡」を拠点とし、未来を担う子ども・若者の学びやチャレンジを応援します。あらゆる年代の人が、主体的に学ぶ喜びを実感できるまちを目指します。」を追加します。	P17.24 基本目標：子ども・若者が夢や希望をもって育つまち ・変わるれ！宣言（３つ目） ・基本目標説明文（３つ目）
12	変わるイノベーション宣言	日本一の理由を教えてください。 質の高い教育は個別最適性が大切。 今の何を变えるのかという認識なのが見えてこない。 日本一を目指すために何を变えるのか。	石坂委員	子育て・教育分科会	策定委員会での回答のとおりです。 よりわかりやすくなるよう基本目標の説明に「個々の興味関心に応じたさまざまな学び・体験・交流ができる機会をつくります。」を追加します。	P17 基本目標：子ども・若者が夢や希望をもって育つまち 基本目標説明文（１つ目）
13	変わるイノベーション宣言 (P17)	記載されている内容はこれまでもやってきていることだと思う。「これをやります」を言えるとうい。 住む場所を選ぶ人たちの観点の一つが教育だと思う。選ぶ理由として、「長岡市の教育が「こうだから」長岡市を選ぶ」、の「こうだから」があるとよい。	山田修委員 黒崎委員	子育て・教育分科会	教育・子育て分野では、近年の子どもや社会が抱える課題に応じて最適と思われる取組みを継続的に進めています。本計画に目新しい内容の記載はありませんが、これまでの取り組みを着実に実施することで日本一の教育の質が実現できると考えています。	－
14	変わるイノベーション宣言	みんなが勉強に熱中しているわけではないので、個別性のニュアンスがあった方がよい。	石坂委員	子育て・教育分科会	「学び」は勉強に限らず、各自で体験するものなど、個別的なものを意味しています。 よりわかりやすくなるよう基本目標の説明に「個々の興味関心に応じたさまざまな学び・体験・交流」を追加します。	P17 基本目標：子ども・若者が夢や希望をもって育つまち 基本目標説明文（１つ目）
15	変わるイノベーション宣言	「新しい学び」はミライエので学びのイメージ。 学びは勉強だけではない、社会生活の中で体験することで学ぶこともたくさんある。それも合わせて学びであることを市民がどこまで意識しているのか？そのことを、市として明確に言うことは難しいのか？極端なことを言えば「勉強できなくてもいい」とか それを市で言うことが「変わる」ということなのではないか。それを市が言うことでのメリットもあるのではないか。	黒崎委員	子育て・教育分科会	勉強できなくても良いと言うことは難しいですが、「学び」は勉強に限らず、各自で体験するものなど、個別的なものも含まれています。 よりわかりやすくなるよう基本目標の説明に「個々の興味関心に応じたさまざまな学び・体験・交流」を追加します。	P17 基本目標：子ども・若者が夢や希望をもって育つまち 基本目標説明文（１つ目）
16	変わるイノベーション宣言	教育はどうしても評価がついてしまう。勉強が苦手で自己肯定感が下がってしまった経験のある親が子どもに期待という名の呪いをかけてしまうなど、漠然とした不安の中で子育てをしている保護者が多い。 熱中感などの素晴らしい取組があるが、その前に「あなたはあなたのままでいい」というメッセージがあると良い。	山岸委員	子育て・教育分科会	「あなたはあなたのままでいい」という基本的な考え方は、基本目標「誰にも優しく寄り添う共生社会のまち」で示しています。 こども・若者の分野においてもそれがイメージできるよう基本目標の説明に「自分らしく、一人ひとりが思う幸福生活」を追加します。	P17 基本目標：子ども・若者が夢や希望をもって育つまち 基本目標説明文（２つ目）
17	変わるイノベーション宣言	基本目標にある「雪に強く」なるためにイノベーションを起こすなら、これまでの延長線上だと捉えられないように、従前の技術だけではない何かに取り組んでほしい。また、雪についての記載が「変わるイノベーション宣言」に入っていないので、目標→宣言→政策→施策が合うように検討してほしい。	樋口委員	まちづくり・インフラ分科会	目標にあるDX技術の活用は、雪関連のイノベーションとして、新たに除雪業者の負担軽減と除雪出動判断を明確化するため、路面状況監視システムなどを検討しており、基本目標の説明に「除雪イノベーション」を加えます。 ※除雪イノベーション…道路除雪に関する課題解消に向けた新技術などの調査研究のこと。	P17 基本目標：災害や雪に強く、暮らしやすい安全安心なまち 基本目標説明文（3つ目）
18	基本目標	「災害や雪に強く安全安心に暮らせる」というひとつの文章になっているので「安全安心＝災害や雪に強い」ということかと思った。安全安心の取り組みが災害や雪以外にもあることはよく読まないといけないので「雪に強く、」と文章を切るだけでも見た人の捉え方が変わるのでは。	原委員	安全安心・環境分科会 まちづくり・インフラ分科会	ご意見を受け「災害や雪に強く、暮らしやすい安全安心なまち」に修正しました。	P 17、22、69 基本目標：災害や雪に強く、暮らしやすい安全安心なまち
19	変わるイノベーション宣言： サプライチェーン の構造的変化を チャンスに！次世 代産業を育成し、 世界水準のものづ くり拠点を創造 (P18)	長岡市がサプライチェーンの変化を捉えられるかどうかはポイント。次世代産業の成長などに力を入れていこうというのは前向きに感じられる。県の総合計画の取組みにも掲載されている。 技術や制度だけではなく、人を育てる仕組みを支える必要がある。大企業であったり農業の担い手、新しいことに挑戦する現場は孤立しない、短いスパンではなく、長期にわたって継続していけるように金融機関や教育機関等が連携して支援していく体制を強化する必要がある。 ものづくりを世界に向けてという中には多言語対応や自治体によるプロモーションや地域のブランド戦略が重要になってくる。	近藤委員	経済・産業分科会	ご指摘のとおり、人を育てる仕組みが重要と認識しています。 P93～96政策「強みを生かし未来を見据えたオール長岡による産業振興」の取組みに記載のとおり、産学連携による次世代産業に対応する人材の育成支援、新事業展開や新たな設備資金等の官民一体支援などの体制強化に取り組んでまいります。	－

No	項目	意見の内容	委員名	担当分科会	意見に対する対応	計画への反映箇所 (素案ページ番号、修正箇所)
20	変わるイノベーション宣言： サプライチェーンの構造的変化をチャンスに！次世代産業を育成し、世界水準のものづくり拠点を創造（P18）	ものづくりを強化するというより、地域を愛せるような方向で検討することも必要。	近藤委員	経済・産業分科会	本市独自の総合計画策定を念頭に、「ものづくり」を特別に掲出したものであり、産業全体を活性化させることには非常に重要ととらえております。そのため、P18基本目標説明文2つ目の中に「産業全体を活性化させる」を追加いたしました。	－
21	変わるイノベーション宣言： サプライチェーンの構造的変化をチャンスに！次世代産業を育成し、世界水準のものづくり拠点を創造（P18）	内容的には理解できる。 文章でイノベーション宣言の内容について、「次世代産業」というのはどういった産業をイメージされているのか。	広川委員	経済・産業分科会	将来の経済成長や社会課題の解決を牽引すると期待される、新しい技術やビジネスモデルを活用した産業分野を指します。	－
22	変わるイノベーション宣言： サプライチェーンの構造的変化をチャンスに！次世代産業を育成し、世界水準のものづくり拠点を創造	長岡市の産業は成長分野が期待できる分野もある一方で、中小零細企業も多くある。次世代産業的な企業のみ焦点を当てると、その他力のない企業は退場しろということなのかということも感じられる。生産性の低い効率性の低い企業全体の底上げの観点ももないと一部だけに焦点が当たっているように見える。 サプライチェーンの構造的変化をチャンスに！にかかる言葉として「次世代産業」は飛躍している。	広川委員	経済・産業分科会	次世代産業に取り組む企業が先進モデルとして地域を牽引することで、企業の更なるサプライチェーンの変化、生産性向上を促し、地域全体の産業の底上げ、新たな産業の創出につなげるという意図で記載しているため、説明文を一部下記のとおり変更します。 基本目標説明文「人口減少・労働力不足に直面した今こそ次世代産業への取り組みを活性化させるとともに」を「人口減少・労働力不足に直面した今こそ次世代産業への取組みを通じ、産業全体を活性化させるとともに」に変更します。	P18 基本目標：産業が成長し活力を創出するまち 基本目標説明文（2つ目）
23	変わるイノベーション宣言： サプライチェーンの構造的変化をチャンスに！次世代産業を育成し、世界水準のものづくり拠点を創造	文章だけを見てもイメージが沸かない。 イノベーション宣言であれば、もっとはっきりとイノベーションについて記載したらどうか。	大原委員	経済・産業分科会	「イノベーション」という文言は、市民一人ひとりの捉え方に大きな差があると思われるため、「産業構造の変革」「新事業への挑戦」といった、事業者が取り組み、市が支援する具体的な内容を記載し、イノベーションの中身を市民がイメージしやすいよう変わるイノベーション宣言を修正しました。	P18.92 基本目標：産業が成長し活力を創出するまち 変わるれ！宣言（1つ目及び2つ目）
24	変わるイノベーション宣言： サプライチェーンの構造的変化をチャンスに！次世代産業を育成し、世界水準のものづくり拠点を創造	市民が見ることを考えると、今のままでは伝わらない。 市民にも分かるような言葉で記載を。 例えば、サプライチェーンのところは「社会の構造変化」「社会情勢」とか。 また、「サプライチェーン～チャンスに！」は無くても伝わるのでは無いか。	高野委員、坂田委員 外山委員	経済・産業分科会	指摘のとおり、変わるイノベーション宣言を市民に分かりやすい表現に下記のとおり変更します。 「サプライチェーンの構造的変化をチャンスに！」を「産業構造の変革をチャンスに！」に変更しました。	P18.92 基本目標：産業が成長し活力を創出するまち 変わるれ！宣言（1つ目）
25	変わるイノベーション宣言： サプライチェーンの構造的変化をチャンスに！次世代産業を育成し、世界水準のものづくり拠点を創造	多様は働き方が考えられる女性のことも考えると、世界水準としなくてもいいのではないかな。 もっと多様なレベル（例えば趣味レベル）の業種を含んだ表現でもいいと思う。	外山委員	経済・産業分科会	変わるイノベーション宣言「魅力的な企業の創出で住み続け、帰ってきたくなる長岡へ」を修正し、「新時代の人材戦略」を追加することで、様々な背景を持つ多様な従業員の活躍を官民一体となって支えていく宣言に修正しました。	P18.92 基本目標：産業が成長し活力を創出するまち 変わるれ！宣言（2つ目）
26	変わるイノベーション宣言： サプライチェーンの構造的変化をチャンスに！次世代産業を育成し、世界水準のものづくり拠点を創造（P18）	世界と戦える基準づくり、というのは産業関係なく強みになるのではないかな。	近藤委員	経済・産業分科会	本市独自の総合計画策定を念頭に、「ものづくり」を特別に掲出したものであり、産業全体を活性化させることには非常に重要ととらえております。そのため、説明文2の中に「産業全体を活性化させる」を追加いたしました。	－

No	項目	意見の内容	委員名	担当分科会	意見に対する対応	計画への反映箇所 (素案ページ番号、修正箇所)
27	変わるイノベーション宣言： 魅力的な企業の創出で住み続け、帰ってきたくなる長岡へ	サプライチェーンの～と同じ意味合いのことが書いてあるように感じる。1つにまとめてもいいのでは。	大原委員	経済・産業分科会	変わるイノベーション宣言「魅力的な企業の創出で住み続け、帰ってきたくなる長岡へ」を「新事業への挑戦と新時代の人材戦略で、選ばれる企業を創出し住み続けたいくなる長岡へ！」に修正しました。	P18.92 基本目標：産業が成長し活力を創出するまち 変わるれ！宣言（2つ目）
28	変わるイノベーション宣言： 魅力的な企業の創出で住み続け、帰ってきたくなる長岡へ	内容はいいと思う。 ただ、「住み続け、帰ってきたくなる」が先に来た方がいいと思う。	高野委員	経済・産業分科会	変わるイノベーション宣言「魅力的な企業の創出で住み続け、帰ってきたくなる長岡へ」の「住み続けたいくなる」という表現に修正しました。また、「住み続けたいくなる長岡へ！」が宣言の冒頭へ来た場合、産業分野としての宣言として捉えられない可能性もあることから、宣言の末尾に据えたものです。	P18.92 基本目標：産業が成長し活力を創出するまち 変わるれ！宣言（2つ目）
29	変わるイノベーション宣言： 魅力的な企業の創出で住み続け、帰ってきたくなる長岡へ	今の言い方だと、長岡で生まれた人に限られているように感じる。 長岡に住んだことのない人も含まれるように。	坂田委員	経済・産業分科会	変わるイノベーション宣言「魅力的な企業の創出で住み続け、帰ってきたくなる長岡へ」の「帰ってきたくなる」という表現を「住み続けたいくなる」に修正しました。	P18.92 基本目標：産業が成長し活力を創出するまち 変わるれ！宣言（2つ目）
30	変わるイノベーション宣言： スマート技術が創る未来、次世代につなぐ新しい農業の実現	「新しい農業の実現」とあるが、基本目標では農林水産業という表現をしている。農業だけに言及することでもいいのか。水産業などは記載しないのか。	広川委員	経済・産業分科会	ご指摘のとおり「農林水産業」に修正しました。	P18.92 基本目標：産業が成長し活力を創出するまち 変わるれ！宣言（3つ目）
31	変わるイノベーション宣言： 全国に！海外に！ 認知度アップで訪日客を倍増！観光消費額も倍増へ！（P18）	「倍増」とあるが、具体的ではない。今の数値があって、倍増なのでは。	高野委員 坂田委員	経済・産業分科会	基本目標の達成に向け、相当な覚悟をもって取り組む決意を「倍増」として表現しています。10年後に現在の状況（数値）から倍増できるよう取り組んでまいります。	ー
32	変わるイノベーション宣言： 全国に！海外に！ 認知度アップで訪日客を倍増！観光消費額も倍増へ！（P18）	「訪日客」を倍増との記載があるが、長岡市の計画の中で「訪日客」表現がふさわしいのか。訪日客は日本全体のことを言っているので表現が広すぎると考える。 また、「倍増」と記載してよいのか。KPIにする必要があるのでは。	広川委員	経済・産業分科会	外国から長岡にお越しになる方という意味で記載したものですので、「訪日客」の表現を「外国人旅行者」に改めました。	P18.92 基本目標：産業が成長し活力を創出するまち 変わるれ！宣言（4つ目）
33	基本目標：産業が成長し活力を創出するまち 基本目標の説明文	「ランプ会」とあるが、長岡市民でもわからない人はいる。 唐突感があるので、変わるイノベーション宣言などに「みんなで考える」「オープンイノベーション」があると、つながりが生まれるのでは。 あとは、注釈ををつけるとか。	大原委員、高野委員 外山委員	経済・産業分科会	ランプ会を一つの官民連携の事例とするよう、文言を修正しました。	P18 基本目標：産業が成長し活力を創出するまち 基本目標説明文（1つ目）
34	変わるイノベーション宣言： 移住者倍増！多様な人との関わりでもっと豊かなまち長岡へ（P18）	前項と同じく移住者倍増と書かなくても。カットしてもよい。	大島委員	魅力発信・交流分科会	基本目標の達成に向け、相当な覚悟をもって取り組む決意を「倍増」として表現しています。	ー
35	変わるイノベーション宣言： 平和の尊さを市民とともに発信！空襲体験者の意思をいつまでも受け継ぎ、伝えるまち	市内の活動だけでなく市外に向けても。 これからやらなきゃいけないことを。これまでやったこと、やっていることではなく。	大島委員	市民協働分科会	指摘のとおりと考えます。より一層市外へも発信するという意思を明確に表わすように変わるイノベーション宣言「平和の尊さを市民とともに発信！空襲体験者の意思をいつまでも受け継ぎ、伝えるまち」を修正するとともに、現在取り組んでいることを続けることも大切であることを強調します。	P18.110 基本目標：にぎわいや交流が生まれる魅力あるまち 変わるれ！宣言（4つ目）

No	項目	意見の内容	委員名	担当分科会	意見に対する対応	計画への反映箇所 (素案ページ番号、修正箇所)
36	変わるイノベーション宣言： 来訪者9割が満足！ 花火だけじゃない 通年でにぎわう観光都市へ (P18)	なぜ9割？根拠は？ 現状を示したうえで、目指す数値を設定できるのでは。 宣言が意気込みを表わしたものであれば、数値的なのはKPIで良いのでは。	大島委員 佐々木委員	魅力発信・交流分科会	越後長岡酒の陣のR 6 満足度を参考にしました。 人気が高く目的を持って集まるイベントの数値に近づけることを目標とすることから9割としました。	－
37	政策：良好な除雪体制の維持、消雪施設などの適正な維持管理	「良好な除雪体制」とあるが、良好であることはそのとおりと思うが、「効率的」の方が良い。効率的とは、全ての道路を除雪するわけではなく、必要に応じてしっかり除雪するところとそうでないところがある、メリハリをつけるという意味を含んでいる。	佐野委員	まちづくり・インフラ分科会	指摘のとおり、政策「良好な除雪体制の維持」を「効率的な除雪体制の推進」に修正します。	P22.73 基本目標：災害や雪に強く、暮らしやすい安全安心なまち 政策：効率的な除雪体制の推進、消雪施設などの適正な維持管理
38	政策 (P22)	「災害や雪に強く安全安心に暮らせる」の中の7つの政策が並列なのか上下関係があるのかわからないが、「環境」を平常時のインフラとして考えると、インフラ整備や生活の安全安心というベシックなものは先に記載してもよいのでは。それがあってはじめて災害などが起きたときも安全安心に暮らせる。一方で、重きを置く政策を上に記載するという考え方もできる。	樋口委員	安全安心・環境分科会	政策に上下関係はなく、基本目標の表現に沿って整理しているため、現状のままとします。	－
39	政策： 市民協働によるまちづくりの推進	「「アオーレ長岡」を核として」とあるが、アオーレだけが核ではない、それぞれの地域に拠点がありそこを中心に広がっているということだと思う。 市民協働センターが核でいいのでは？	渡辺委員 田中委員	市民協働分科会	指摘のとおり、政策「市民協働によるまちづくりの推進」政策の目指す姿を市民協働センターを核とする記載としました。	P25 政策：市民協働によるまちづくりの推進 政策の目指す姿
40	政策： 市民協働によるまちづくりの推進	町内会ありきで書かれているのが古い。 市民主体のまちづくりを進めるために、新しい地域コミュニティの姿を考えていく方がよい。従来の町内会の形にこだわらず、市民主体のまちづくりを市民と行政と一緒に考えていく	渡辺委員 田中委員	市民協働分科会	指摘のとおり、政策「市民協働によるまちづくりの推進」政策の目指す姿に時代の変化に応じた支援をしていく旨の記載をしました。	P25 政策：市民協働によるまちづくりの推進 政策の目指す姿
41	誰にも優しく寄り添う共生社会のまち	孤独死、高齢者の単身死が増えている。団塊の世代の方でどちらかが先に亡くなると、単身高齢世帯が増える。単身の高齢者をどうサポートするか、この視点が足りないように思える。	樋口委員	福祉・健康・医療分科会	施策の柱「市民が地域で支え合う福祉のまちづくり」の主な取組みに支え合い活動に加え、見守り活動に必要な支援を行うことを記載しました。	P32 政策：市民が支え合う地域福祉の実現 施策の柱：市民が地域で支え合う福祉のまちづくり 主な取り組み
42	基本計画： 子ども・若者が夢や希望をもって育つまち (P49)	「ダイナミックに変えていく」が教育にも一か所くらいあるといいのでは。 行政と民間の得意なところを掛け合わせていけばいいのでは。長岡市は市民協働のまち。行政ができない学びは民間でカバーすればよいと思う	山田修委員 石坂委員	子育て・教育分科会	米百俵プレイスマライエ長岡を拠点とした新しい学びや、教育情報プラットフォーム「こめぶら」は、長岡市においてダイナミックな変化のひとつであると考えています。行政、企業、市民等との協働でさまざまな事業を実施しており、P51「未来に向けた人づくりの推進」、P61「子どもが自主的に参加し、自分の能力を伸ばす学びの場の提供」に記載しています。今後もより良い変化を目指していきます。	－
43	施策の柱： 防災対策の推進と消防・救急体制の充実	「政策の目指す姿」に長岡市の特色を出すために以下の下線部分を追記していただきたい。 自然災害時の情報収集・発信を強化し、自主防災会の支援や防災リーダーの育成、学校を核とした防災教育の推進により地域防災力を向上するとともに、国、県、関係機関と連携した原子力安全・防災対策を継続し、防災まちづくりを推進します。	中野委員 ※当日欠席のため、事前に意見聴取	安全安心・環境分科会	政策「防災対策の推進と消防・救急体制の充実」の政策の目指す姿に「、防災教育の推進」を追加します。 ただ、学校に限定する必要はないため、「学校を核とした」は削除しました。	P70 政策：防災対策の推進と消防・救急体制の充実 政策の目指す姿
44	政策：誰もがキャリアを活かしいきいきと働く産業集積の創造	施策の柱「高度外国人材等のインターンシップ支援」について、インターンシップ支援は最終手段ではない。 雇用を目指すべきでは。	大原委員	経済・産業分科会	政策「誰もがキャリアを活かしいきいきと働く産業集積の創造」の施策の柱「高度外国人材等のインターンシップ支援」を「高度外国人材等の活用促進」に修正します。	P97.100 政策：誰もがキャリアを活かしいきいきと働く産業集積の創造 施策の柱：高度外国人材等の活用促進
45	施策の柱： 「協働のまち長岡」の推進	「まちづくりに取り組むNPO法人と協働し」 NPO法人市民協働ネットワーク長岡とNPO法人ながおか未来創造ネットワークに限定していないか？地域コミュニティ団体や市民活動団体を意識した書き方を。 みんなでやっていくという意識をいれる。	渡辺委員	市民協働分科会	指摘のとおり、施策の柱「「協働のまち長岡」の推進」の主な取組みを全地域を意識した記載に修正しました。	P25.26 政策：市民協働によるまちづくりの推進 施策の柱：「協働のまち長岡」の推進
46	施策の柱： 男女平等の実現に向けた社会環境の整備や女性活躍に向けた支援 (P28)	女性活躍の言葉が違和感 家庭育児まだ活躍するの？ 女性が個人として幸せになるとかの方がよい	渡辺委員	市民協働分科会	女性活躍については、女性に活躍を強いる意図ではなく、「女性が自ら望む生き方や活躍の方法を選択し、実現できること」と考えています。 次期総合計画の政策を推進する5つの視点にも「女性活躍を推進し、多様性を尊重する」を掲げており、女性活躍は多様性確保の第一歩でありますので、「女性活躍」の言葉は生かしたいと考えています。	－
47	施策の柱： 男女平等の実現に向けた社会環境の整備や女性活躍に向けた支援 (P28)	課題に「アンコンシャスバイアス」とあるが、女性が戻ってこない原因はそこにある。 特に進学や就職における親世代の意識改革が重要だと思うので、親世代のマインドを変えるような取組みができないか。	高野委員	市民協働分科会	若年女性の社会流出について、地域に根強く残る性別による固定的な役割分担意識や、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）が一因であることは認識しています。御指摘の親世代も含め、あらゆる機会を通じて意識啓発を行っていきます。	－

No	項目	意見の内容	委員名	担当分科会	意見に対する対応	計画への反映箇所 (素案ページ番号、修正箇所)
48	施策の柱： 男女平等の実現に向けた社会環境の整備や女性活躍に向けた支援 (P28)	(高野委員に続いて) 高専でも親の意向で入学している学生が一定数いる。 親の意識改革もそうだが、長岡市の大人全体で子どもにチャレンジしてもいいんだよという環境 (心理的安全性が担保された環境)を整えるのが重要では。	外山委員	市民協働分科会	委員の御意見は、基本目標の「子ども・若者が夢や希望をもって育つまち」においても重要であると認識しております。この実現につながるよう、無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)等の解消に向け、あらゆる機会を通じて意識啓発を行っていきます。	ー
49	施策の柱： 国際交流・多文化共生の推進	外国の方の住む場所が見つからない。 アパート見つからない。 外国の人も住みやすい政策が必要なのでは？ 家賃が高い。 空家を活用してシェアハウスがあるとありがたい	田中委員 アデリン委員	市民協働分科会	外国人の住居探し、家賃等の課題に対し、空家やシェアハウスなどを活用することについては、民間事業者との協力や連携が不可欠であることから、引き続き、多文化共生の意識啓発と協力の働きかけを行う旨を主な取組みに記載しました。	P28.29 政策：多様性を認め合い、自分らしく暮らすことができるまちづくりの推進 施策の柱：国際交流・多文化共生の推進 主な取組み
50	施策の柱： 国際交流・多文化共生の推進	労働者としての外国人が多くなっているが多言語化がインフラ部分で足りていない。この5年10年でどこまでできるかはわからないが、インフラにも多言語対応が必要なのではないか。公共交通がまず取組んでもいいのでは。	樋口委員	市民協働分科会	外国人の労働者や観光客が増加していることから、多言語対応を進めることは重要であると認識しています。多言語対応を推進するためには、民間企業とも協力して取組む必要があるため、引き続き、多文化共生の意識啓発と協力の働きかけを関係部署や関係機関に対し、行う旨を主な取組みに記載しました。	P28.29 政策：多様性を認め合い、自分らしく暮らすことができるまちづくりの推進 施策の柱：国際交流・多文化共生の推進 主な取組み
51	施策の柱： 障害のある人への相談支援体制、地域生活支援の充実	受けれる補助金や支援について知らない、どこに相談すればよいかわからない、受けれる支援を受けずに我慢している人をどうひきだすか、支援につなげるか。 発達障害により引きこもりにつながることもある。	草間委員	福祉・健康・医療分科会	施策の柱「障害のある人への相談支援体制、地域生活支援の充実」の主な取組みに相談窓口を周知する旨を記載します。	P40 政策：障害の有無にかかわらず、誰もがいきいきと暮らせる社会の実現 施策の柱：障害のある人への相談支援体制、地域生活支援の充実
52	施策の柱： 救急医療体制の確保	医療現場の基幹3病院を維持するために医療現場が大変なことが市民に伝わっていない。	草間委員	福祉・健康・医療分科会	施策の柱「救急医療提供体制の確保」の主な取組みに基幹3病院や医療現場の現状について発信していく旨の記載を追加しました。	P47 政策：誰もが安心して受けられる医療体制の確保 施策の柱：救急医療提供体制の確保
53	基本目標： 子ども・若者が夢や希望をもって育つまち (P49)	全体として網羅的に記載されている。「変わるれ」というキーワードと「住み続けたい、選ばれる」のつながりがほしい。 住み続けたいと選択するタイミングは18歳。市教育委員会だから小中学生のことがメインで高校生という観点が弱い。 18歳のタイミングで18歳までの人生経験で住み続けるかどうかを選ぶだろう。 また、この会議には子育て支援や小中学校と大学の先生はいるが、高校の先生いない。15～18歳の年代に自分の人生設計について考えさせるアプローチの観点があると、「住み続けたい、選ばれる」という考えとのつながりが出てくると思う。	山田修委員	子育て・教育分科会	高校生年代の若者を対象とした、さまざまな出会いや経験、交流を提供する取組みや、就職活動生に対してUターンを促す取組みなどは、米百俵ブレイスミライ工長岡などで数多く実施しています。 また、義務教育段階においては、郷土愛の醸成やキャリア教育に取り組んでいます。 一方、現代の多くの子どもにとって、18歳までにその先の人生設計を決めることは難しい面もあると思われます。 子ども時代に熱中できるものを見つけてそれを存分に楽しみ、学び、体験することが、その後の長い人生のなかで故郷に貢献したいという思いにつながることもあるため、P51「ミライ工長岡を拠点にした若者の交流の促進」、P57「キャリア教育の充実」、P98「多様な人材が活躍できる職場環境整備への支援」、P116「移住相談・案内体制の強化と移住体験コンテンツの充実」に記載のとおり進めたいと考えます。なお県立高校での取組みについて本計画に記載することは難しいです。	ー
54	基本目標： 子ども・若者が夢や希望をもって育つまち (P49)	高校3年生の夏にPRパンフ配るとか、大学3年へのアウトリーチとか。そういうアプローチがあると、「住み続けたい、戻ってきたい」につながるのではないか。 その時期に自分の人生を真剣に考え選択することが「変わるれ」と「住み続けたい」がにつながるのではないか。	山田修委員	子育て・教育分科会	NO.53と同様	NO.53と同様
55	基本目標： 子ども・若者が夢や希望をもって育つまち (P49)	24時間夜間保育してほしい。 赤字だが必要。 多様性のある働き方できる。	田中委員	子育て・教育分科会	現在、多様な保育ニーズに対応するため、通常保育に加え、延長保育、休日保育、病児・病後児保育のほか、一部の保育施設では、24時間対応はできないものの、小規模ながら夜間保育も実施しています。また、ファミリー・サポート・センターにおいても、夜間預かりを実施しています。R5年度に実施したニーズ調査においては、夜間保育の数値が極めて低いことから、今後は、ニーズの変化を見ながら適切に検討してまいります。	ー

No	項目	意見の内容	委員名	担当分科会	意見に対する対応	計画への反映箇所 (素案ページ番号、修正箇所)
56	基本目標： 子ども・若者が夢 や希望をもって育 つまち (P49)	マルチリンガルな社会（多言語）になる 幼稚園から英語を教える。 英語を教える園に補助金をだして全員が受けれるようにしてほしい。	アデリン委員	子育て・教育分科会	多様化する現代社会において、子どもたちが幼い頃から多様な文化に触れ、国際的な視野を育むことはとても大切です。認定こども園等では、外部講師を活用した英語教室など、各々が特色のある教育活動を展開しております。今後も、各園において、外国籍の子どもや先生との遊びや会話を通じて、子どもたちが多様性を受け入れ、共に生きる喜びを感じられる環境を育んでいきたいと考えております。	－
57	施策の柱： ミライエ長岡を拠 点にした若者の交 流の促進 (P51)	ミライエを拠点にした若者の交流の促進とあるが、交流するといきなり長岡に住む人が増えるのか、そこに結びついているのかなと感じている。ゆくゆくそうなるのはわかるが もっと手前の部分で見るところがある。企業と学生が交流するといきなり長岡に愛着を持つのか、まず企業に持つのではないのか。ゴールがふっとんでいるので、もっと手前の目標がもういくつかあるのではないか。	原委員	市民協働分科会	若者がミライエを拠点に人とのつながりを増やしたり、やりたいことにチャレンジできた経験をすることで、長岡が好きという気持ちを醸成することを願っています。その気持ちを表す指標として、長岡市に住み続けたいと考える人の割合をKPIとするものです。	－
58	政策： ふるさとに誇りを もち、共に認め支 え合う社会の実現 に向けた教育の推 進 (P53)	ふるさとに誇りをもつという「愛郷心」と共に認め合う「共生社会」が入っていて、ここだけ異質なものが繋がっているように思う。 (愛郷心も戻ってきたいという観点で重要であり、インクルーシブも発展途上で重要という認識ではある。)	石坂委員	子育て・教育分科会	本政策では、施策の方向性の一つとして、アイデンティティを育み、個性を認め尊重する共生社会の実現を目指しています。	－
59	施策の柱： 保幼小中の接続期 への支援の充実 (P57)	「保幼小中」とあるが「保幼小中高」にはならないか。 義務教育と高等学校教育の管轄の違いがあるから難しいか。	山田修委員	子育て・教育分科会	保幼小中連携は、園・学校、保護者だけでなく、地域も含めて、子どもたちを育てようとする事業です。高校を含めて連携することは理想的ですが、高校には複数の市町村の生徒が通学するので、本事業が目指す姿とは異なります。また高校は設置者が異なることもあり、保幼小中連携に加えることは難しいと考えます。	－
60	施策の柱： キャリア教育の充 実	充実というのであれば、KPIに「企業登録数」を追加したらどうか。 こめぶらを見てみたが、企業訪問・職業講和等聞けるメニューがあるが掲載件数が少なく、その先（地元企業を知ること）につながらないと思った。	高野委員	子育て・教育分科会	義務教育におけるキャリア教育は「自分の生き方・働き方を主体的に考えられる力を育てる教育」です。つまり、「何の仕事に就くか」だけでなく、「どう生きたいか」「どんな力が必要か」を考えられる力をつける教育です。したがって、キャリア教育の充実を図るために、児童生徒が自分を理解し、将来の生き方や働き方について自ら考え、納得のいく選択ができるようになるための学びの機会を計画的に提供することです。 児童生徒の発達段階に応じた「キャリア教育」の目的や目標が、より明確にイメージできるようにするため、施策の柱「キャリア教育の充実」の現状「自らの成長を自覚し、将来について考えるきっかけとなること」という表現を「児童生徒が自分を理解し、将来の生き方や働き方について自ら考え、納得のいく選択ができるようになるための学びの機会を計画的に提供すること」に修正します。 また、「こめぶら」の掲載内容の充実を目指し、企業等に対して協力の呼びかけを推進することを主な取組みに追記しました。	P57 政策：一人ひとりを大切にした多様な育ちと学びの切れ目ない支援 施策の柱：キャリア教育の充実

No	項目	意見の内容	委員名	担当分科会	意見に対する対応	計画への反映箇所 (素案ページ番号、修正箇所)
61	政策： 一人ひとりを大切に した多様な育ち と学びの無い切れ 目ない支援	施策の柱「キャリア教育の充実」に対応する主な取組みとKPIが結びついていないと思います…。 こめブラのキャリア教育に関するアクセス数で、「キャリア教育が充実したか」を測ることはできないと考えます。「誰もが学びに熱中できる 日本一質の高い教育のまち」の実現にキャリア教育非常に重要です。再考をお願いします。 ※国のキャリア教育は、人が生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分との関係を見いだし、ていく連なりや積み重ねである「キャリア」の発達を促す教育と位置づけられています。具体的には、一人一人の社会的・職業的自立に向け、以下の4つの基盤となる能力や態度を育てることを目指しています。 1.人間関係形成・社会形成能力 2.自己理解・自己管理能力 3.課題対応能力 4.キャリアプランニング能力 これは、働くことの意義や自分の生き方について考え、将来を展望し、様々な情報に基づいて主体的に判断・行動する力を養うことを含む広範な概念です。学校教育だけでなく、地域や家庭、企業等との連携も重要視されるものです。 施策の柱に対しての取組例は、例えば体系的なキャリア教育プログラムの導入や強化、課題解決型職場体験学習などの実践的な職業体験を企業へ広める、地域住民・社会人との交流機会を創る、キャリアコンサルタント等との相談体制の構築、教職員・保護者・地域住民へのキャリア教育研修の実施などが考えられます。 KPIの例は、将来の夢や目標を持つ子ども・若者の割合、自己の強み・弱み、興味・関心を理解している子ども・若者の割合、将来の進路について具体的に計画を立てている子ども・若者の割合、多様な社会人との交流機会を持った児童生徒の割合、地域活動やボランティア活動に参加した児童生徒の割合などが考えられます。	中野委員 ※当日欠席のため、事前に意見聴取	子育て・教育分科会	キャリア教育に関する4つの能力を育むための第一歩として、小学校入学から義務教育終了までの期間を通じて、児童生徒が自分を理解し、将来の生き方や働き方について自ら考え、納得のいく選択ができるようになるための学びの機会を提供しています。 義務教育におけるキャリア教育では、自分（強み・弱み・興味・関心）を理解することが、キャリア教育の充実とつながると考えられるため、KPIに「自分には良いところがある（全国学力・学習状況調査の質問項目）」のアンケート結果を追加します。	P57 政策：一人ひとりを大切にした多様な育ちと学びの切れ目ない支援 施策の柱：キャリア教育の充実
62	政策： やる気や学ぶ意欲 を高め、夢を描き 志を立てて生き抜く 子どもの育成 (P59)	施策の柱「オール長岡で連携・協働し、確かな学びを実現するための学校への支援」の現状に「教員の補助や外国語指導、学校司書の配置などを進め、特色ある教育活動を支援しています。」とありますが、多忙化解消が中々進まない現状や現場教員の声から、支援する人材の配置・支援の実態はまだ不足していると認識しています（全国的に）。質の高い教育の実現には、「学校現場の負担軽減と地域一体での教育の推進」が不可欠です。教員が子どもと向き合う時間よりよい学びを実現するための授業準備時間も絶対的に必要です。 KPIは教員の能力向上のみではなく、足りていない人数に着目し、支援人材を含めた環境の改善を図る指標（例 教員の補助や外国語指導、学校司書の配置の充足率・長岡市立の学校は、一人ひとりに向き合う時間が確保されていると回答した教員の割合や、今後も教員として働き続けられる環境にあると回答した教員の割合など）も必要だと考えます。 ボランティア頼みではなく、学校等の学び舎の職員（教員有資格者以外も含め）を増やし、学校内外の両輪で次世代の教育に注力する。教育現場の人を増やすというダイナミックな教育支援改革に取り組むことで、全国から教員を呼び（採用は県教委ですが…）、長岡で働きたい教員が増え、質の高い教育の継続性が高まる。子どもたちは教員だけでなく沢山の大人に見守られ、安心して成長し、将来、教員になりたい・教育に関わりたいと願う子どもも増えていく。そんな循環を創り出せたら、全国の他自治体を圧倒する差別化になるのではと思います。	中野委員 ※当日欠席のため、事前に意見聴取	子育て・教育分科会	教職員の配置については、県教育委員会により決定しています。長岡市としては、教育補助員やスクールサポートスタッフなどの配置による支援を進めています。今後も職員研修を充実させ、前向きに取り組んでまいります。	—
63	施策の柱： 地域防災力の強化 (P71)	活動率については、防災訓練だと仮に1世帯でも参加すれば活動したとする「やるかやらないかのゼロイチ」の議論になるが、地域全体の防災意志が上がるのが大事。他都市では「ながら防災」に取り組んでいる。防災訓練だけではなく、町内の納涼会にあわせて、点呼の訓練などコミュニケーションの機会としている例もある。活動率を上げると同時に、どんな活動なのかも大切なので、地域の安全安心という面では防災訓練だけではなく取り組みもあるように思う。	樋口委員	安全安心・環境分科会	市内でも「ながら防災」の事例があり、それを含めた様々な活動を支援の対象としています。施策の柱「地域防災力の強化」の主な取組みにある「支援します」という表現には防災に資する様々な活動への支援を含んでいるため、現状のままとします。	—
64	施策の柱： 地域防災力の強化 (P71)	長岡はマンションが多く、水害時に垂直避難をしてそのまま建物に残る人も多いと思う。大都市圏では「マンション防災」といってマンション単位で防災組織をつくり取り組んでいるところもある。活動の報告があればということだが、そういったところからは報告はあがってこないと思われるので、普通の町内会とは別に独自にブッシュ型で把握していった方がいい。川崎市が「備える川崎」というパンフレットを作っているが、集合住宅向けのページを作成している。長岡は自主管理のマンションも多くあるので対応も必要だと思う。	樋口委員	安全安心・環境分科会	マンション住民で結成した自主防災組織からも活動報告を受け、支援を行っています。施策の柱「地域防災力の強化」の主な取組みにある「支援します」という表現にはマンションなど集合住宅における活動への支援を含んでいるため、現状のままとします。	—
65	施策の柱： 地域防災力の強化	本気でイノベーションと記載するのであれば、今あることの改善ではなく、今の状態ではないくらいのことを書かなくてはならない。防災組織については人がいることありき、人材が減っていないという前提で記載されているが、本当に人材がいなくなる前提で、今人に頼っている部分を完全に自動化やDX化するようなことを考えなくてはならない。	勝身委員	安全安心・環境分科会	今後の人口減少を踏まえ、施策の柱「地域防災力の強化」の課題を「今後さらに人口減少が進む中、結成済み組織の活動の継続や充実に取り組む必要があります」と修正するとともに、主な取組みを「自主防災組織の活動の継続や充実に支援」と修正しました。	P71 政策：防災対策の推進と消防・救急体制の充実 施策の柱：地域防災力の強化
66	施策の柱： 地域防災力の強化 (P71)	自主防災組織のカバー率という考え方もある。自主防災組織の活動がどれくらいの世帯に影響しているかを示すもの。成果指標に入れないにしても参考指標にしてもいいかもしれない。中越地震のように大きな地震だけでなく、近年はゲリラ豪雨など災害も多様化しているので、活動している人だけではなくて、地域全体で自主防災をしようという意識、危機意識を高めていくことが必要だと思う。	原委員	安全安心・環境分科会	カバー率（結成率）は9割程度で全国平均を上回っており、参考数値として担当部署で押さえておくこととします。	—
67	施策の柱： 地域防災力の強化 (P71)	市から情報提供する側、例えば自主防災組織などへの情報発信、情報伝達と一緒に英語を流すと、見る人が増えるかもしれない。	原委員	安全安心・環境分科会	ハザードマップや防災ホームページなどは多言語対応しており、施策の柱「地域防災力の強化」の主な取組みにある「発信強化」という表現には更なる多言語対応の検討も含んでいるため、現状のままとします。	—

No	項目	意見の内容	委員名	担当分科会	意見に対する対応	計画への反映箇所 (素案ページ番号、修正箇所)
68	政策：防災対策の推進と消防・救急体制の充実	学校を核とした防災教育の推進の現状や課題、KPI（例：学校防災教育を支援した自主防災会や町内会の割合）を追加しませんか。自主防災会の活動率も重要ですが、若い世代を巻き込んだ防災活動の実施は、長岡市でもほとんどの防災会が課題と感じています（日本全国での課題でもあります）。その一方で、長岡市では学校防災教育をみなで支える支援体制を構築し、推進を支えることで、子ども、保護者世代・地域住民を巻き込んだ防災教育の実践が年々増加しています。学校を核に子ども大人も防災意識を高める取組が、全国から注目を集めています。長岡の防災まちづくりの特徴に「学校を核とした防災教育の推進」を加えることで、次世代への防災意識の向上のみならず、時代の変化など様々な理由から防災訓練などに参加しない・できない保護者世代、地域住民にも防災の普及啓発を継続し、安心・安全なまちづくりにつながると考えます。 ※学校・行政・防災まちづくりNPO（ふるさと未来創造堂）の協働により、学校の負担を軽減しつつ、未来を担う子どもへの防災教育の推進と持続可能な支援体制を構築し、全国的な評価を得ている。（第27回防災まちづくり大賞「総務大臣賞」、令和5年防災功労者「内閣総理大臣表彰」受賞） 受賞後、総務省消防庁から防災優良事例としても紹介され、大学や研究機関、全国の自治体から相談を受けている。手前みそですみません。 https://youtu.be/7Pkaw5O2CIY?si=ZmySRan16MZCthmc	中野委員 ※当日欠席のため、事前に意見聴取	安全安心・環境分科会	施策の柱「地域防災力の強化」の主な取組みに、「・防災リーダーを育成するとともに、防災教育を推進します。」を追加します。	P71 政策：防災対策の推進と消防・救急体制の充実 施策の柱：地域防災力の強化
69	施策の柱：機械除雪体制の維持と路線の最適化	除雪を行った後の道路の傷みに伴って、細かい粒子が川に流れることでゆくゆくは環境汚染につながる恐れがある。イノベーションを起こすというなら、そもそも雪が積もらない道路を作るべき。降ったら除雪して道路を直すということを繰り返すのではなく、修復しなくてもいいような除雪ができるようにすべき。	勝身委員	まちづくり・インフラ分科会	雪が積もらない道路として、消雪パイプのほかにロードヒーティングやその他融雪システムの検証をこれまで行ってきましたが、高コストであったり、豪雪地帯では十分な効果が得られないなどの問題がございます。 現時点では、豪雪地帯において消雪パイプが最もコストの面からも効果の面から最も一番の選択肢となっております。 今後も、消雪パイプ以外の新しい技術の融雪システムについて、除雪イノベーションとして実用に向けて研究をしてまいります。	P17 基本目標：災害や雪に強く、暮らしやすい安全安心なまち 基本目標説明文（3つ目）
70	政策：環境にやさしい循環型・脱炭素社会への移行	再生可能エネルギーである生ごみからの発電量の目標値を、ＥＶバスで使う電気を発電でまかなうような数値を設定するのはどうか。 カーボンニュートラルの発想で、越後交通が買っている電気と相殺できるとか、防災で災害時の環境部門と連携できるとか、電力をなんとかできるとか連携はできないか。	樋口委員	安全安心・環境分科会	当施設の発電量（生ごみ由来）は年間2,200,880kwh（R6）でＥＶバス（2台）の年間充電量約80,000kwhを既に大きく上回っているため、目標値の設定は行いません。 なお、当施設で発電した電力の新たな活用方法は、設備更新の際、改めて検討を行うことを主な取組みに記載しました。	P81 政策：環境にやさしい循環型・脱炭素社会への移行 施策の柱：ごみの減量とリサイクルの推進 主な取組み
71	施策の柱：鳥獣被害の防止に向けた地域の担い手確保	例えばジビエとして産業にむすびつけているところもある。隊員数だけでなく、次につなげるような、一歩二歩進める取組みを。	樋口委員	安全安心・環境分科会	鳥獣被害対策実施隊は捕獲・被害防除・周知啓発活動など本市の鳥獣被害対策の根幹となる組織で、その隊員の確保は施策における最も重要な要素であり、その目的に合致したKPIを設定しているため。現状のままとします。 しかしながら、隊員数の減少自体は避けられないなかで、人材確保・育成を主軸としながらも、それ以外でより効果的に被害防止対策を進めていくための方策に関するアプローチも必要と考え、資料1別紙の「主な取り組み」欄に、地域住民の自助・共助意識の促進や、省人化・効率化に繋がるＩＣＴ／ＩｏＴ技術の活用推進に関する記述を追加しました。	P83 政策：自然との共生社会の実現 施策の柱：鳥獣被害の防止に向けた地域の担い手確保 主な取組み 現状 課題
72	施策の柱：拠点の維持と持続可能なコンパクトシティの推進	公共交通について「自動運転などの技術革新」とあるが、自動運転が実現できれば公共交通の問題はある程度解決する。それまでのことに関して取り組みを進めた方がいい。	佐野委員	まちづくり・インフラ分科会	ご指摘のとおり、自動運転技術の確立及び社会実装は少し先の展望となるため、そこに至るまでの間の取り組みについて、基本目標の説明文を修正するとともに新たに施策の柱「地域のつながりと暮らしを守る公共交通の確保」を追加しました。	P17 基本目標：災害や雪に強く、暮らしやすい安全安心なまち 基本目標説明文（2つ目） P19、85 政策：豊かな暮らしを守る公共交通の確保とコンパクトシティの推進 施策の柱：地域のつながりと暮らしを守る公共交通の確保
73	施策の柱：拠点の維持と持続可能なコンパクトシティの推進	「自動運転などの技術革新や公助・互助・共助など様々な方法を組み合わせ」とあるが、具体的な取組みも記載した方がよい。意図は理解できるが、一般の人が見たときに理解できるかどうか。	佐野委員	まちづくり・インフラ分科会	ご指摘のとおり、具体的な取り組みがわかるよう、新たに施策の柱「地域のつながりと暮らしを守る公共交通の確保」を追加し、取り組みを記載しました。	P85 政策：豊かな暮らしを守る持続可能なコンパクトシティの推進 施策の柱：地域のつながりと暮らしを守る公共交通の確保
74	施策の柱：拠点の維持と持続可能なコンパクトシティの推進	5年でできることと10年かかることで強弱がわかるといい。防災は最初の5年でやらなくてはならない、自動運転は5年ではできない。自動運転は10年でも実現できるかわからない中で、その間は何に取り組むのかということが、今の記載だとわかりにくい。まず（前期5年で）これをやって、次に（後期5年で）これをやるというような書き方や、自動運転は次の10年へ向けてこの10年でこれをやる、など整理して書いた方がよい。	樋口委員	まちづくり・インフラ分科会	ご指摘のとおり、自動運転技術の確立及び社会実装は少し先の展望となるため、そこに至るまでの間の取り組みについて、新たに施策の柱「地域のつながりと暮らしを守る公共交通の確保」を追加しました。	P85 政策：豊かな暮らしを守る持続可能なコンパクトシティの推進 施策の柱：地域のつながりと暮らしを守る公共交通の確保
75	施策の柱：拠点の維持と持続可能なコンパクトシティの推進	運転手を育てる姿勢が必要。今までと同じことではなく、公共交通を維持するなら、人材育成を行政が先導してやるくらいの姿勢が必要。	樋口委員	まちづくり・インフラ分科会	ご指摘のとおり、公共交通の確保には運転士不足対策が重要であることから、新たに施策の柱「地域のつながりと暮らしを守る公共交通の確保」を追加しました。	P85 政策：豊かな暮らしを守る公共交通の確保とコンパクトシティの推進 施策の柱：地域のつながりと暮らしを守る公共交通の確保
76	施策の柱：拠点の維持と持続可能なコンパクトシティの推進	地域交通の関係ではスマホ配車サービスの取り組みを提案したい。公共交通やタクシーではなく、海外のような誰もが運ぶ人になれるような取組みが必要。実際学生の間では、学生同士で車を持っている人が持っていない人を載せてあげるような配車サービスの取組みが見られる	勝身委員	まちづくり・インフラ分科会	ご指摘のとおり、今後の移動手段確保においては、共助・互助による移動支援の仕組みも必要となって来ることを踏まえ、施策の柱「地域のつながりと暮らしを守る公共交通の確保」に主な取り組みを記載しました。	P85 政策：豊かな暮らしを守る公共交通の確保とコンパクトシティの推進 施策の柱：地域のつながりと暮らしを守る公共交通の確保

No	項目	意見の内容	委員名	担当分科会	意見に対する対応	計画への反映箇所 (素案ページ番号、修正箇所)
77	施策の柱： 拠点の維持と持続可能なコンパクトシティの推進	長岡の物理的な広さを考えると、公共交通網は骨のように分布しており全域を網羅できないため、公共交通がない部分は自由度が効くものにシフトする必要がある。今あるものを維持しつつ進めるのか、新たな考え方を入れていくのかで政策の方向性は違ってくる。	勝身委員	まちづくり・インフラ分科会	ご指摘のように長岡は市域が広く、鉄道や路線バスによる移動手段の確保が難しく、そのような交通空白地域には、コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーの運行を行い、見直しをしながら移動手段を確保しています。こうした現状等を新たに施策の柱「地域のつながりと暮らしを守る公共交通の確保」を追加し、記載しました。	P85 政策：豊かな暮らしを守る公共交通の確保とコンパクトシティの推進 施策の柱：地域のつながりと暮らしを守る公共交通の確保
78	施策の柱： 拠点の維持と持続可能なコンパクトシティの推進	コンパクトシティの推進については、まちなかとは旧長岡の中心市街地かと思うが、まちなか居住区域など合併地域含めて拠点がある。その合併地域の拠点のトーンが弱い感じる。その拠点とまちなかは公共交通を維持していくということを書いてはどうか。	樋口委員	まちづくり・インフラ分科会	ご指摘のとおり、地域拠点を維持するには、不足するサービス機能を公共交通の活用により補うことが重要であることから、公共交通を維持する旨を施策の柱「拠点の維持と持続可能なコンパクトシティの推進」の主な取組に追加しました。	P85 政策：豊かな暮らしを守る公共交通の確保とコンパクトシティの推進 施策の柱：拠点の維持と持続可能なコンパクトシティの推進
79	施策の柱： 都市の中心性を高める魅力あるまちづくり (P86)	「都市の中心性を高める・・・」の中で、中心市街地エリアを歩く人の数は賑わいの指標として理解できるが、「起業する人の数」は急にピンポイントで絞った指標で違和感を感じる。ミライエは産業創出とともに、人づくり・学びの場でもあるので、起業ばかりではなく、もっと広い意味でアクションを起こす人の数という指標にできるといい。	原委員	まちづくり・インフラ分科会	総合計画においては、まちの変化を数値的に把握する必要があり、起業は、まちでアクションを起こすこととの相関もあることや、新しいことに挑戦する動きの重要な形態であること、また、活性化の象徴的な現象として定量的に捉えやすいことから、経済活動の起点となる『起業する人の数』を指標のままとしました。	－
80	施策の柱： 道路ネットワーク整備とインフラの保全適正化	インフラ維持において人材が足りない状況をＩＴ技術で高度化・効率化していこうということだが、市内には４大学１高専と工科大学もあるので、人材の育成という取組みも明記していただきたい。	佐野委員	まちづくり・インフラ分科会	今進めている取組の例として、長岡高専が実施している高専ＲＥＩＭ（レカレント教育）を活用することで、インフラを修繕する業者への再教育、建設現場などのフィールド提供を行っておりますので、委員指摘のとおり、施策の柱「道路ネットワーク整備とインフラの保全適正化」の主な取組みに「４大学１高専など」を追記します。	P89 政策：持続可能なインフラの整備・保全 施策の柱：道路ネットワーク整備とインフラの保全適正化
81	施策の柱： 災害にも強い、持続可能な上下水道事業の運営 (P89、90)	上下水道施設について言うと、老朽化に伴い取り換える時期が来ていると思うが、長岡だけで考えるのではなく日本全体で考えていくべき。もっと広域的に捉えて取り組むべき。	勝身委員	まちづくり・インフラ分科会	上下水道では国も「ストックマネジメント」の推進を通じて、老朽化対策を計画的に実施していく方針を掲げており、当市においても適切な維持管理や資産のスリム化を踏まえた計画的な更新による老朽化対策を進めてまいります。	－
82	基本目標： 産業が成長し活力を創出するまち	記載している内容は良い。我々のような小さい企業でも海外との取引が増える中で、今後は欧州等の雇用形態等を含めた規制・認定を通過する必要がある。安心して長岡市で商売ができる仕組みができるとう良い。世界で戦える基準づくりが長岡でできると良い。 農業で若い人が来ないとならない。仮に農業で生活できてもその他の基本的な社会インフラがないと生活できない。	西片委員	経済・産業分科会	地域企業の新分野、新事業への挑戦については、イノベーション宣言に「新事業への挑戦」を新規に追加し、次世代分野だけではない地域企業の事業拡大のための方向性を示したものです。認証取得への支援については個別具体的な事案であるため、総合計画には掲載しないものの、委員からの意見を踏まえて検討を進めてまいります。	P18.92 基本目標：産業が成長し活力を創出するまち 変わるれ！宣言（２つ目）
83	基本目標： 強みを生かし未来を見据えたオール長岡による産業振興	世界と戦ううえでの認定や認証を長岡市として金融機関等と連携して定着させていくこと	西片委員 近藤委員	経済・産業分科会	地域企業の新分野、新事業への挑戦については、イノベーション宣言に「新事業への挑戦」を新規に追加し、次世代分野だけではない地域企業の事業拡大のための方向性を示したものです。認証取得への支援については個別具体的な事案であるため、総合計画には掲載しないものの、委員からの意見を踏まえて検討を進めてまいります。	P18.92 基本目標：産業が成長し活力を創出するまち 変わるれ！宣言（２つ目）
84	施策の柱： 産学連携による技術高度化と次世代人材育成 (P94)	4大学1高専の人たちがチームになって学ぶことが大事。 結果として市外に出ても、長岡を好きでいてくれたら長岡を中心にヒトカネモノが回ると思う。 KPI「産学連携事業実施件数」には、技術高度化事業だけでなく次世代人材育成事業も含めることに留意いただきたい。	外山委員	経済・産業分科会	P94施策の柱「産学連携による技術高度化と次世代人材育成」のKPI「産学連携事業実施件数」については、様々な解釈が想定されKPI指標として曖昧であること、また、委員御指摘のとおり人材育成についても支援していくことが重要であることから、産業創出と人材育成を唱えるNaDeC構想のもとでR6に設立された「産学協創センター」におけるコーディネート件数に修正します。	P92.94 基本目標４：主要指標（1つ目） 施策の柱：産学連携による技術高度化と次世代人材育成
85	施策の柱： 官民連携による企業のDX推進 (P94)	DXはあくまでも手段。お金をかけたのに失敗したという話も聞いている。 企業のマインドセットをしないままDX化を進めてもうまくいかない。まずはマインドセットをするメニューを入れられないか。	高野委員	経済・産業分科会	指摘のとおり、企業のマインドセットは極めて重要であると考えており、「課題」について「全社的な意識改革や推進体制の構築をはじめ」を追加しました。 P94の主な取組みに記載のあるデジタル化やロボット導入の伴走支援は、単なるデジタル技術の導入を避けるため、マインドセットを含めた支援策となっております。	－
86	施策の柱： 地域企業や地場産業の持続的発展	施策の柱「官民連携による企業のDX推進」と「地域企業や地場産業の持続的発展: 多くの業種において後継者問題が顕在化」の具体的な施策として事業承継で経営者が変わるタイミングでDX人材を登用するようなスキーム（DXによる第２次創業）を検討してみてもどうか。	外山委員	経済・産業分科会	指摘のとおり、単に事業承継の促進のみならず、事業承継を契機とした生産性・経営力向上を支援することが重要となるため、施策の柱「地域企業や地場産業の持続的発展」の課題に「事業承継・M&Aを契機とした生産性・経営力向上に向けた支援が求められています。」の記載を追加します。（DXは、生産性向上・経営力向上の手段の１つと捉えています。）	P95 政策：強みを生かし未来を見据えたオール長岡による産業振興 施策の柱：地域企業や地場産業の持続的発展
87	産業全体	女性や若者が戻ってこないという課題があるにも関わらず縦割り。教育と就職が分断されている。 子どもたちが地元企業を知らないまま市外に出て行ってしまっている。 中高生のキャリア教育をしているようだが総合学習などは学校側に主導権があり、企業側からの情報提供が足りない。企業側からどうアプローチをするのか考えないといけない。	高野委員	経済・産業分科会	P49基本目標「子ども・若者が夢や希望をもって育つまち」において、企業とも連携しながら、学校外の学びや小・中学校のキャリア教育を行うことを掲げており、様々な政策の観点、アプローチで広く企業と子ども達の接点を作ることとしています。	－

No	項目	意見の内容	委員名	担当分科会	意見に対する対応	計画への反映箇所 (素案ページ番号、修正箇所)
88	施策の柱： 多様な人材が活躍 できる職場環境整 備への支援	KPIについて、はたブラ賛同企業数だけでは測りきれない。 入札の加点になる等の理由で入っているところもある。 既に実施しているはたブラ賛同企業アンケート（回収率は低いが「月平均所定外労働時間数」「年次有給休暇取得率」「管理職に占める女性割合」「男女育児休業取得率」「離職率」について毎年アンケートを実施）や商工会議所に協力してもらってアンケート取り、働き方改革の取り組みが進んでいるか実態を把握し、KPIに入れてはどうか。	高野委員	経済・産業分科会	施策の柱「多様な人材が活躍できる職場環境整備への支援」のKPIに「はたブラ賛同企業による月平均所定外労働時間数」を追加しました。	P98 政策：誰もがキャリアを活かしたいいきいきと働くための人への投資と産業集積の創造 施策の柱：多様な人材が活躍できる職場環境整備への支援
89	政策： 誰もがキャリアを 活かしたいいききと 働く産業集積の創 造 (P99)	具体的な施策として若手・女性経営者の活躍・育成が必要。	近藤委員	経済・産業分科会	起業家支援の他にも、女性活躍の観点から、女性経営者や起業家に対する支援を進めていくことから、P99施策の柱「若者や女性など多様な感性を活かした起業・創業支援」の主な取組みの中に「学生や女性等の起業家を支援する地域内エコシステムの創出を図ります。」を追加しました。また、P95施策の柱「地域企業や地場産業の持続的発展」の中の主な取組みに「事業承継等」を追加し、重点的に支援していくこととします。	－
90	政策： 誰もがキャリアを 活かしたいいききと 働く産業集積の創 造	「いきいきと働く」産業集積の創造というのは、雇用環境をどうするかの話と産業集積の話が混同している。産業集積している地区で働く人に生き生きと働いてもらうという趣旨であれば理解できるが、雇用環境については雇用環境の改善について話しており、産業集積は別の話だろう。両方とも重要な話であるため、つなぎ方を変えた方が良い。	広川委員	経済・産業分科会	「人への投資と」政策の内容の中にを入れこみ、雇用環境と産業集積が並列になるよう修正しました。	P22.97 基本目標：産業が成長し活力を創出するまち 政策：誰もがキャリアを活かしたいいきいきと働くための人への投資と産業集積の創造
91	政策： 誰もがキャリアを 活かしたいいききと 働く産業集積の創 造	NAGAOKAワーカー自体は推進すればよいと思う。一方で、我々は兼業・副業を推進している。そういった観点での記載があっても良いだろう。	広川委員	経済・産業分科会	施策の柱「多様な人材が活躍できる職場環境整備への支援」の主な取組みに、兼業・副業人材活用についての記載を追加しました。	P98 政策：誰もがキャリアを活かしたいいきいきと働くための人への投資と産業集積の創造 施策の柱：多様な人材が活躍できる職場環境整備への支援
92	施策の柱： 若者や女性など多 様な感性を活かし た起業・創業支援 (P99)	KPIに起業数とあるが、起業家を持続的に輩出するためには人材の裾野を広げることが肝要。そこで、育成すべき人材像を、起業家だけに絞るのではなく、イノベーション人材、DX人材と幅広く捉えて育成するビジョンを掲げてはどうか。	外山委員	経済・産業分科会	基本目標の「変わるれ！宣言」の中に、「新時代の人材戦略」として人材育成や人材活躍の重要性とビジョンを追加しました。加えて、政策4－1の施策の柱「産学連携による技術高度化と次世代人材育成」の主な取組の中でも「次世代産業に対応する人材育成を支援します。」と謳うことで、産業界を担う人材の育成に取り組むこととしております。	P18 基本目標 産業が成長し活力を創出するまち 変わるれ！宣言（2つ目）
93	施策の柱： 若者や女性など多 様な感性を活かし た起業・創業支援 (P99)	KPIとして、起業後の、継続件数も重要だと思う。 起業後に雇用やどう回していくのか理解していない人もいる。 立ち上げの支援だけではなくその後の支援も	高野委員	経済・産業分科会	同項目のKPIに「起業件数との比較による事業継続事業所割合」の追加も検討しましたが、KPIの設定数なども考慮し、起業家数を優先して設定することとしました。	－
94	施策の柱： 若者や女性など多 様な感性を活かし た起業・創業支援	（高野委員に続いて） 継続支援は、商工会議所のミッションでもある。 わかりやすいシステムを立ち上げられたらいい。	大原委員	経済・産業分科会	米百俵ブレイス東棟での産業支援機関の集積を好機ととらえて、起業家支援の地域内エコシステムの構築に取り組んでいくことから、「主な取組み」の中に、「し、起業家を支援する地域内エコシステムの創出を図ります。」を追加しました。	P99 政策：誰もがキャリアを活かしたいいきいきと働くための人への投資と産業集積の創造 施策の柱：若者や女性など多様な感性を生かした起業・創業支援
95	政策： 次世代につなぐ活 力ある農林水産業 の実現 (P102)	実行のために必要な取り組みという観点で考えた。空き家を更地にして家庭菜園にして農業の次世代育成をしてはどうか。すぐに担い手になるわけではないが、そのきっかけづくりができるのでは。	近藤委員	経済・産業分科会	主な取組みの中で、「多様な担い手の確保」と記載していますが、多様な担い手とは、大規模の専業農家だけでなく、兼業農家や農業に興味を持ち農業を始めたいと思っている方等すべてを多様な担い手と捉えているため、記載は現状のままといたします。	－
96	政策： 次世代につなぐ活 力ある農林水産業 の実現	耕作放棄地を何とかしなければならないという意味では大規模化を具体的にどうやって進めていくか考えなければいけない。採算が取れなければだれもやらない。 具体的な施策の中に盛り込む必要がある。 収入を引き上げていくことの記載があるといい。	広川委員	経済・産業分科会	耕作できない農地が増加する中で、所得を確保していかなければ担い手の獲得は困難となることを踏まえ、施策の柱「生産性向上による持続可能な新しい農業の実現と生産基盤の強化」の主な取組みに「稼げる」の文言を追加しました。	P102 政策：次世代につなぐ活力ある農林水産業の実現 施策の柱：生産性向上による持続可能な新しい農業の実現と生産基盤の強化
97	施策の柱： 多様な担い手と新 規就農者の確保・ 育成	担い手を増やすというのは、法人数の増加のことか。後継者の育成を目指すのか。 また、担い手育成には意識改革も含まれているのか。 経営者というマインドを持った人を増やしたいのであれば、単なる育成ではなくて「経営改革」ということをわかりやすく掲載したらいいいのではないか。	大原委員	経済・産業分科会	法人や後継者だけでなく農業に従事するすべてが多様な担い手と考えており、その中でも大規模農家を中心に経営意識の向上が必要であることを踏まえ、施策の柱「多様な担い手と新規就農者の確保・育成」の主な取組みの「経営感覚を持った」を「経営意識の高い」に修正しました。	P102 政策：次世代につなぐ活力ある農林水産業の実現 施策の柱：多様な担い手と新規就農者の確保・育成
98	施策の柱： 多様な担い手と新 規就農者の確保・ 育成 (P102)	ニュースで直播栽培に変えたという山口県の農家の事例を見た。製造プロセスを変えて法人化していた。 担い手が少ないのであれば、製造プロセスの効率化の研究は行政も関わって進めてはどうか。研究開発をするラボ機能がないという話も聞く。	外山委員	経済・産業分科会	直播栽培は、県内でも普及しつつあり、生産の省力化に有効です。直播栽培やスマート農業などの新しい技術の研究については、農研機構などの研究機関が行っています。必要に応じて研究機関との連携を考えていきます。	－
99	政策 人材の還流による 新たな価値の創造	記載の意味が分からない。東京からのリターンという意味かと思ったが内容は異なる。新たな価値の定義も曖昧。何をやろうとしているテーマなのかよくわからない。「外部人材との連携」と「人材の還流」とはアンマッチで成立していないのでは。主な取組とも連動していない。実証プロジェクトの支援を行う上で外部人材を活用する、という意味か	広川委員	経済・産業分科会	ご意見を受け改めて検討した結果、政策及び施策の柱など、記載内容を全体的に修正いたしました。	P105.106 政策：オープンイノベーションによる地域経済の課題解決

No	項目	意見の内容	委員名	担当分科会	意見に対する対応	計画への反映箇所 (素案ページ番号、修正箇所)
100	政策： 地域の稼ぐ力を高める観光産業の振興	長岡市単独で観光振興ができるのか。新潟県全体（広域的な観点）で考えないと難しいテーマだと思う。記載内容自体は問題ないと思う。従来からやってきたことでもある。DMOも設立に向けて頑張りたい。	広川委員	経済・産業分科会	ご指摘のとおり。施策の柱「多様な連携による「越後長岡」のブランド力の強化と稼ぐ力の育成」の主な取組みに「広域的な」を追記しました。	P108 政策：地域の稼ぐ力を高める観光産業の振興 施策の柱：多様な連携による「越後長岡」のブランド力の強化と稼ぐ力の育成
101	施策の柱： 観光産業の高付加価値化による地域経済の活性化	観光産業に稼ぐ力とあるが、ここだけ見ると観光に特化しているように見えるので、農業とかほかの分野もあってもいい。補助金に頼らずやっていけるような、自立した長岡になってほしい。	佐野委員	経済・産業分科会	ご指摘のとおり。施策の柱「観光産業の高付加価値化による地域経済の活性化」の主な取組みに「分野を超えた」を追記しました。	P108 政策：地域の稼ぐ力を高める観光産業の振興 施策の柱：観光産業の高付加価値化による地域経済の活性化
102	政策： 非核平和都市宣言都市・長岡の推進（P112）	ほとんどの活動が市内で完結。誰に向けて発信する必要があるか。 沖縄の施設は、観光目的ではないだろうが来訪者多い。 核爆弾ではない通常の空襲を受けた世界の都市に向けた発信はどうか。ガザやシリアなど。長岡の復興や、花火の意味を知ってもらうと、将来、長岡に思い入れを持ってもらえるかもしれない。平和を実現できた実績をアピール。	ガーヴィー委員	市民協働分科会	今後は、長岡市の平和事業に関する取組をリニューアルする長岡戦災資料館を拠点に、市内だけでなく広く発信が必要があると考えます。 計画への反映は行いませんが、リニューアルする戦災資料館での活動や展示内容には長岡の復興や花火の意味などを反映する予定です。また、世界へのメッセージの発信は、平成20年から加盟している平和首長会議を通じ、引き続き行ってまいります。	－
103	政策： 非核平和都市宣言都市・長岡の推進	長岡の平和への思い、2度の戦火に焼かれても復興した姿、それらを市民と一緒に発信していく取組みを根付かせたほうがいい。阪之上や希望が丘の取組が代表的だが、子どもたちが語り部になれるように。	山田光枝委員	市民協働分科会	子どもたちをはじめとした市民が語り部の意思を引き継ぎ、発信できるような仕組みを検討したいと考えますので、施策の柱「戦争の悲惨さと平和の尊さの次世代への継承・発信」の「語り部と若い世代の交流の場～」の記載を「交流し、思いを受け継ぎ、発信する仕組み」と具体的に記載します。	P112 政策：非核平和都市宣言都市・長岡の推進 施策の柱：戦争の悲惨さと平和の尊さの次世代への継承・発信
104	施策の柱： 多様な関係人口をターゲットとした情報発信や継続的な接点づくり	長岡ファンクラブのイメージは？ アンバサダー制度とかで、市民をアンバサダーに認定するとか。市民全員が長岡の良さ、コンテンツを語れるように。	山田光枝委員	魅力発信・交流分科会	長岡ファンの市への関係性深化のための情報発信などを行うターゲットグループとしてイメージしていました。あらためて政策・施策を精査し、ファンクラブの設立にこだわらず、歴史・文化・観光などさまざまな分野での長岡ファン創出・深化にむけた情報発信に取り組むこととし、2つの施策の柱をまとめました。 また、移住定住者も関係人口と関連性が高いため、いずれも拡大・促進していくこととし1つの政策としました。	P115 政策：関係人口の創出・拡大と移住定住の促進 (政策：移住定住の促進と統合)
105	政策： 魅力ある観光の振興（P119）	街歩きできるエリアがない。宿泊場所も少ない。来訪者の滞在時間を延ばせると、来訪者自身が情報発信者になり得る。 摂田屋も、摂田屋で終わるのではなく長岡市内全域の周遊観光につなげるとか（同じ醸造のまち三島など）。	山田光枝委員	魅力発信・交流分科会	滞在時間の延長を図る施策は、重要だと考えています。施策の柱の豊富な資源を活かした観光誘客の促進「主な取組み」に掲げている、「観光資源を活かした観光コンテンツの造成」や「周遊観光の促進」、「近隣の観光地との連携」にかかる施策の提案の一つとして、具体的な取組みを進める中で検討してまいります。	－
106	政策： 魅力ある観光の振興（P119）	観光情報が集約されていない。各地域で細切れ。観光ツアーを企画した際も、調べるのが大変だった。でも、各地域が地域内で完結する考えしかない、手が回らない実情もある。そこを市が支援して、イベント時の配布物として他地域を含むイベントカレンダーを用意するとか。日程が近ければ宿泊も見込まれる。 入り口は例えば長岡駅として、出口（各地域への繋がり）を増やしてほしい。	大島委員	魅力発信・交流分科会	観光情報の集約や、地域を連携させた情報発信は、効果的と考えています。施策の柱の豊富な資源を活かした観光誘客の促進及び持続可能な観光まちづくりの推進の「主な取組み」に掲げている、「効果的な情報発信や誘客プロモーション、近隣の観光地との連携」、「共働を進め、効果的・効率的な観光振興を」にかかる施策の提案の一つとして、具体的な取組みを進める中で検討してまいります。	－
107	政策： 魅力ある観光の振興（P119）	交通インフラや宿泊体制も必要になる。摂田屋を巡りたくても宿泊場所が不便。いきなり公共交通を増便とか民間活用はハードルが高いので、ホテルのバスを連携させて運行するなど、活用できないか。	山田光枝委員	魅力発信・交流分科会	施策の柱の豊富な資源を活かした観光誘客の促進の「主な取組み」に掲げている、「公共交通機関の強化」の具体的な取組みを進める中で、様々な視野から検討してまいります。	－
108	政策： 魅力ある観光の振興（P119）	SNSで情報発信する際の英語翻訳、Google翻訳ではなくきちんと人の手を介して。 機械翻訳は簡単なミスをする。それが目に付くと、観光に力を入れていないと思われる。ニュアンスも正しく伝えられなくなって、せっかく作ったストーリーも伝わり方が変わってしまう。（取組みの）結果が変わってしまう。別の土地に行かれてしまう。	ガーヴィー委員	魅力発信・交流分科会	情報の発信にあたって、受取り手に併せ、外国人の目線で表現や発信内容を作成することは重要と思います。施策の柱の豊富な資源を活かした観光誘客の促進の「主な取組み」に掲げている「効果的な情報発信」に取り組むにあたり、しっかりと対応してまいります。	－
109	施策の柱： 行政運営を支える人材育成と魅力ある職場づくり	「職員のワークライフバランス」について、ハラスメント研修アンケートの回答のうち75%は安心して働けると回答しているが、25%違うと回答している。 安心して働けないという回答のうち約4割はハラスメント関係。 ワークライフバランスというと、育児・介護がメインになりがちだが、メニューの中に心身の健康もいれていただきたい。	高野委員	行財政運営分科会	施策の柱「行政運営を支える人材育成と魅力ある職場づくり」の課題に「心身ともに健康で」を追加し、主な取組みに「ハラスメントの防止」を追加しました。	P129 政策：時代の変化に適応した持続可能な行政運営と市民サービスの高質化 施策の柱：行政運営を支える人材育成と魅力ある職場づくり
110	施策の柱： 多様な担い手と新規就農者の確保・育成	・農地の集積・集約化は市全体の方向性としてはいいと思うが、人材確保が難しいこともあり、これ以上大規模農家（法人等）が経営面積を増やすことは今後簡単ではないと感じている ・農業は夜遅く、朝早い等マイナスのイメージが強いので、若手を増やすのであれば、働き方改革などを進めるとともに、農業のイメージアップを図る必要がある。 ・また、新規就農者（イチから始める人）への支援が足りていないと感じる。土地や機械などの購入費用がかかるため、イチから農業を始めるのはハードルが高い。	駒野委員	経済・産業分科会	農業のイメージアップや農業を始めやすい環境を作るため、働きやすい就業環境の整備を促進していくため、施策の柱「多様な担い手と新規就農者の確保・育成」の主な取組みの2つ目と3つ目の記載を修正しました。	P102 政策：次世代につなぐ活力ある農林水産業の実現 施策の柱：多様な担い手と新規就農者の確保・育成